

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
18・10・14(日)
南NEWS no 80

Sincerity (誠実) と Consideration (思いやり)

10月12日(金)の午後練はできるかどうか心配していましたが、前日に“雨が午前中から降ったりやんだりだったら中止にしま”と連絡をしていたのです。が、当日は朝のうちに雨が上がり、これならできると喜んでいました。古積さんも心配をして連絡をくれました。“できるので嬉しいです”と返信して、3時過ぎに家を出て由井三に向かいました。6年生はチカコさん一人でした。水曜日と随分違いました。いつも来る5年生5人のうち“今日は遊んでいよ”とのことで3人来ていません。がっかりです！6年生のハヤト君は水曜日の午後練の時「今週の金曜日也由井中の部活を見学に行くので午後練を休みます」と私に言ってくれたのです。

ハヤト君の言葉に“誠実さと思いやり”を感じた私です。優しいです。

ノーベル医学生理学賞受賞の本庶佑さんの言葉

10月2日(火) 朝日・朝刊

……六つのC 学びも遊びも全力……

六つのCが時代を変える研究には必要だと、本庶さんは説く。「C」は英語表記で

- ・好奇心 (Curiosity)
- ・勇気 (Courage)
- ・挑戦 (Challenge)
- ・確信 (Confidence)
- ・集中 (Concentration)
- ・継続 (Continuation)



の頭文字。これらの「C」を学生時代から追い求めてきた。

研究で心懸けていることを尋ねられると、好奇心、簡単に信じないことだと語った。

「自分の目で確信できるまでやる。自分の頭で考えて、納得できるまでやる」。それが基本姿勢だとした。

子どもたちに向けて、「重要なのは知りたい、不思議だと思うことを大切にすること。教科書に書いてあることを信じない。あきらめない。そういう小中学生が研究の道を志してほしい」とエールを送った。

人生にもサッカーにも通じる六つの「C」だと思いませんか。

5年生 市民体育大会

10月8日(月) みなみ野小

○めあて コーチング アーリーヒット 渡り廊下を使う
スプリント フォアチェック

○南八王子0-5シルクロード 前半0-4

勝利以外にはトーナメント進出が厳しい2戦目の相手はシルクロード。ユウシン君のデビュー戦でもあり、みんなが勝利を目指して試合に臨みました。この試合も開始早々に大きなマークのずれでトップに独走を許し、先制点を与えてしまう厳しい展開となりました。

左SBのトウイ君のオーバーラップが何度も功を奏して決定的な場面を創りますが得点できません。その後も相手の速い逆襲に対応できず3失点。0-4で前半は終わりました。

後半からトップに入ったユウシン君が抜群のスピードで相手DF陣にプレッシャーをかけ、ボールを奪い、ゴールに迫り、シュートを撃つもジャストミートしません。

相手GKからのポジションにフォアチェックでプレッシャーをかけ続け終始押し気味に試合を進めますが、ゴールをゲットできません。

GKのパントキックをヘッドで返さず、足で処理しようとして後逸したボールを押し込まれて失点。0-5での敗戦となりました。

試合後の子どもたちは、“0-5で負けたけど、まったく適わない相手だとは思えない”と異口同音に言っていました。前後半共に攻め続けていたからです。

次は勝てますよ！！ 気持ちを入れて練習したらですが……。



コーチ所見

試合前にアドバイスされたことをしっかり聴いて、理解して実践する力が足りませんでした。それに尽きます。

“絶対に自分の相手をしっかりマークして仕事をさせない、南のゴールに向かってボールを蹴らせない”と何度も言われたのにそれが実行できない。先ず“聴く力”の問題です。マークの原則を理解できていない子もいました。

個人技では負けていませんでした。一発であたらず、ディレイ、プレスバック、取られたら即奪い返すアーリーヒット、つるべの守りがしっかりできていれば、コーチングができていれば、代表が言っていたように“結果お逸になっていた”でしょう。

後半徹底できたフォアチェックを前半立ち上がりから全力で展開し、持っている技を積極的に使い、数的優位を常に保ち、くさびからの展開、渡り廊下でのワンツー、後ろからどんどん湧き上がるオーバーラップの多用等ができれば、JA都大会ベスト8の西原にも勝てるチームになりますよ。

自分のめあて・チームのめあての達成をめざしてGAMBAついでに、高頂にも到達できますよ！！

by岡村コーチ

